

視聴覚教育

# 月報

## NO.2

発行日 31. 1. 10  
 発行 岡崎市小中学校  
 視聴覚教育協会  
 編集 視聴覚教育協  
 会調査部  
 印刷 岡崎・明大寺  
 社  
 印刷 トラザー印刷社  
 TEL. 340.2592

### 協会の発展を祝して

岩津、矢作を迎え全市こぞつて加入

昭和三十一年一月より、矢作岩津常磐地区の小中学校が当協会に加盟され、全市小中学校四十四校となり、児童生徒数は三万八百余人であります。茲に協会の今後の発展を考へて、四つの目標を挙げます。

一、教材フィルム充実、二、教材教具の使用能率の増進、三、事務所の合理化、四、加入学校受入態勢の強化、第一は年度予算の許す限り購入します。現在の所有量六十五本巻数にして百十六巻、三十一年度は大巾に増強、第二は大いに

使用し、先生方に協会の内容をよく知っていただきたい。

第三は事務所は全市の中央で連絡運搬、会議等諸般の活動に便利な所でありたい。人間は専任事務員と、専任指導員が欲しい。

第四は各学校の視聴覚設備を強化して欲しい。いろいろ困難な事情はあるが温かい気持ちで吾々の協会を育てて戴きたい。将来之が改善に努め、初期の目的を達成したい。

### 新加入校と主任者

矢作東小	山田勉三	恵田小	近藤卓
矢作南小	竹内鎌市	細川小	大須賀茂
大樹寺小	神谷立樹	矢作西小	岡田金二
岩津小	加藤剣二	矢作北小	勝田純平
奥殿小	高橋岩雄	常磐東小	内藤繁雄
		香山中	青山孝
		岩津中	大塚恒夫
		太田兼松	

### 茨城県水海道市

## 視聴覚教育研究会参加記

一六名小 渡辺 尚三

十月十九日、雨の降る中を茨城県水海道市の「茨木県水海道市学校教育実験地区中間発表会」に参加した。

新潟、富山と共に視聴覚教育の先進地として自他共に許している水海道の現状とくに学習指導との関係について知りたという念願を持っていったが、まずこの地域の特性として、

○共同研究が徹底している。  
 ○実験校でなく県の教育実験地区として全市が一丸となり、学習指導法の研究に邁進している。

○地域に即した教育課程の作成に当ってあくまで実践を中心とし、全カリキュラムの完成が六ヶ年後を目標とする長期計画である。  
 ○フィルムライブラリーの基礎が学習指導の徹底という強い実践の力で支えられている。

以上のような点があげられる。  
 次に研究授業を参観して、徹底して国立教育研究所の指導を受けており、現実の問題と児童を取組ませ、そこから考え理解させようとする努力は十分に認めら

れ参考となる点が多かったが、技術的にはまだ伸び足りない感があった。さらに研究発表者の全部が市内各校の校長であり、卒業実践の先頭に立っていることがうかがわれた。

映画の使用についても、カリキュラムに明示されていることは勿論、単に一度見せたらよいのでなく、単元の展開に従って色々な視点から繰返し見るように計画されている点も参考になると思う。

最後に学視連の永原先生及び国研の矢口先生の講演があったが、特に矢口先生の視聴覚教育の進まない原因として、

○映画を媒介と強要すること、必要量の不足  
 ○映画は娯楽であり、マニアまかせとなる。  
 ○社会、自然の実態にふれさせる教育でなければ、人間は育たないということが理解されていない。

等をあげられ、現場の研究は実践がいつも基盤にならねばならないことを強調されたことが強く印象に残った。



# 1月教材映画



フィルム名 漁村のくらし(十一分)  
 適用学年 四年 社会科  
 単元 近くの町や村

山ぞいの村 海べの村 平野の村のようすをしらべる

内容

この映画はわが国漁業の母体である沿岸漁業にカメラをむけ、小規模な経営をしている約百万人の漁師の生活の実態を描いたものである。

使用法

学習活動では山村・農村・漁村のとくちようを調べるようになっていから、この映画を中心として漁村のとくちようを分析的に把握させる。

フィルム名 小売店の仕事(十八分)  
 適用学年 五年 社会科  
 単元 新しい商業  
 内容 児童の身边にある文具を实例にと

って、小売店が消費生活機構の中にとくちような位置を占めるか、また分配機構の末端部としてどのような役割を果しているかを示している。

使用法

この映画を二回に見せ、次のような学習目標を達成するような方法も考えられる。

一、商品分配の経路はどうなっているか、をとくに小売店を中心として生産者から消費者までの経路を理解させる。次に

二、合理的に商店を利用するにはいかにしたらよいか、については、この映画によって仕入れ、小売値段等について把握させ、これを基礎として品物の入手方法を考えさせる。

フィルム名 坊々の世界一週(二十分)  
 適用学年 六年 社会科  
 単元 世界と新しい日本  
 内容 アメリカ合衆国、イギリス、フランス

## 実践記録

単元 おまわりさんと消防のおじさん

一、十字路のおまわりさんのお仕事を知らせ、おまわりさんのいろいろなお仕事をしらべる

二、消防のおじさんの仕事をしらべる

三、この頃の火災の様子と出動する消防車について話し合う。

四、火事現場の消防士の活躍ぶりをしらべる。

五、町や学校にはどんな消防設備があるか。

六、岡崎市消防本部を見学し、仕事ぶりや施設を見る。

七、映画「火事をなくする組織」を見て防火に対する心構えをつくる。

八、火災や犯罪、事故をなくするために私たちにできる仕事を話しあう。

映画を使った部分の指導

映写前の指導——消防のおじさんの仕事を復習し、視点としては、おじさんは消火のためにどのように活躍したか、防火の努力をどのように払っているかの二点を注意した。

映写中の様子——いきなりすぎましいサイレンのうなりと炎の乱舞に、子どもたちは自ら耳も手もはわれた。火災らしい火災を見たことのない子供達は、消火作業が動く絵となってあらわれたのを、息をつめて眺め、微動だにしない。

映写後の指導

第一に火事はおそろしいという点について、「火事はこわい」「映画でもこわかった」「一日に学校が十三もたつくりやけるんだよ」と子供達は火災の恐ろしさを今更の如く知り、その恐ろしい火事が多くの経済的な不幸をもたらしていることを知ることができた。

第二に消防士の活躍を十分知ることができた。そして他人の不幸を救うため一分一秒を争っていることに気づいた。「おじさんが、鉄棒をすべるところがおもしろかった」「僕は二のこぞえた。画面でベルが鳴り消防車かび出すまでの時間を数えた児童。火事は最初の五分が大事故だからと教えられたのが、自然に出て細かい点まで映画に引きつけられたのがわかる。そして消防関係者に強い感謝の

ス、ドイツ、スウェーデン、スイス、イタリヤなど欧米各地の中、旅行者が一度は立寄ると思われる主要地の文化観光の面を中心として既観したもので動く絵はがき式に描いてある。

この單元の中、二外国の文化や芸術の話しを聞くので、欧米各地の景観風俗等を把握させる。

フィルム名 耳のはたらき (十分)

適用学年 五年 理科

單元 音ほどんばものか

内 容

人間の耳の構造と機能を、動画と解剖学的撮影の併用によってわかり易く説明し、さらに耳の疾患と衛生についても説明したものである。

使用法

「耳はどうして音がきこえるか」については実験・観察ができないので、この映画を中心として学習を進める。

フィルム名 筑後平野

内 容

米の多収獲地帯として有名な筑後平野にも幾つかの問題があることを描き日本農業についての問題を提示してい

る。筑後川下流のデルタ地帯は多くの水田があるが、治水対策の不健全さから、生まれた問題として新しい経営法や干拓工事などが中心となる。

日本農業の現状と将来について考える場合、この映画から多くの問題点を引き出し、その個々の問題について調査研究が進められるようにしたい。

フィルム名 原生動物 (十分)

内 容

水たまり、池、沼、河中に生育する微生物の種類  
原生動物の運動方法  
繊毛虫類であるゾーリムシの形態  
ゾーリムシの生理

使用法

水虫に生育する生物、水草、魚、海の生物、プランクトンの学習の中、プランクトンについての理解を進める。

動植物の繁殖法の所で分裂法と微生物の生理についての理解を助ける。

気がむけられている。第三に防火施設に気がくばれるようになった。「先生の見せてくれた消火栓へ道路にうめてある」が映画に出ていたぞい。「ぼくの家の近くに四つある」「この間自動車を見た時(消防本部へ行った時)道にあった(凸形)のもでていたぞ」「おじさんが自転車おいていて叱れどつたぞ」「きまってる。火事の時間おじやないか」

今迄、何気なく通りすぎた道端に、怖い火災を克服する消火栓があるのを知り、社会のために愛護しようとする気持ちがじつじつある。第四に「あのおばあさんの顔はかわいそうだった」と画面の被災者に同情を寄せる。私たちもうっかりするとあんなるんだという気持ちがあらわれている。以上の四点が、今迄の学習の整理としてまとめられたのである。

# ライブラリーだより

一巡回フィルム紹介(一二月)  
おばあちゃんありがとう。のこうがい。足の不自由な照子には一年生入学がらっともうれしくなかった。おばあちゃんの背中で泣いてあばれて入学した。  
いたずらもの六郎が照子をからかう。照子はどうしても学校にゆきたがらない。

子供の好きなおばあちゃんに、六郎はじめのクラス全体がなつくようになった。当初、村人たちが危ううんだおばあちゃん通学も、雨にも風にも決して塗ぎれなかった。やがておばあちゃん自身も入学し、いくつかのエピソードを挿さぬつも懇意の卒業式を迎えたのである。……(五巻 民芸、放映共同製作)  
二第三期(一二月)購入フィルム試写会  
一月下旬、会場 未定

## あしがき

〇岩津、矢作の参加により協会もいよいよ岡崎市全部のものとして新発足することになりました。新年のおめでとうと同時に喜びを申し上げます。

〇月報もこれで第二号、何とかして映画を教室の中に取り入れようという目標のもとに此の様な企画をしました。〇これが本当に皆のものとして利用される様皆様の御批判を戴きたいと思えます。

# 映画「小売店の仕事」を学習に取り入れた一試み

目 標	学 習 活 動
<p>一、単元 新しい商業</p> <p>二、目標。現代における商店、デパート、マーケットや協同組合等の機構について知り消費生活の便利になったことを理解させる。</p> <p>○ 商業発達の経路をたどらせて必要物資の入手方法を理解させる。</p> <p>○ 岡崎市の商店の現状を理解し、消費生活の合理化や、合理的な物の買い方を養う。</p> <p>三、展覧例(十九時間)</p> <p>(——は映画を見る目標)</p>	<p>私たちは必要物資をどのようにして手に入れているか(三時間)</p> <p>商品分配の経路はどうなっているか</p> <p>(七時間)</p> <p>岡崎市の商業の現状を知り振興策を考え</p> <p>(六時間)</p> <p>合理的に商店を利用するにはいかにしたらよいか</p> <p>(三時間)</p>
<p>○ 年末年始の買い物についてどんな物をどこから買って来たか、一らん表にして調べてみる</p> <p>○ 家の近くで買っている物、市の中央部で買っている物、他の都市に出掛けて買った物等に分類してみる</p> <p>○ 各地域に於ける商店の働きについて話し合う。</p>	<p>○ 映画「小売店の仕事」を見て文房具かどんな経路で手に入るか話し合う。</p> <p>○ 近くの商店へ行き商品の生産者から消費者までの経路をしらべ、絵図をつくる。</p> <p>○ 映画「小売店の仕事」を見て同屋について話し合い商品の流通過程における問屋のしくみを考える。</p> <p>○ 「小売店がなかったら私たちはどんなに困るか」について討論会を行う。</p> <p>○ 昔の物々交換から今の分配機構になるまでの移り変りとその発達の原因を調べ表にしてみる</p> <p>○ 岡崎の商店の分布を調べ、中心地と周辺部との関係について話し合う。</p> <p>○ 岡崎の商圏の地図をかき、豊橋、名古屋、半母、西尾の商圏と比較してその特性を把握する。</p> <p>○ 岡崎の商店の人達はどこを相手とし、どんな宣伝をしたらよいかについて話し合う。</p> <p>○ 自分達は学用品等を買う時どんな事を希望するか、家で品物を買入れる時どんな希望をするか調べる。</p> <p>○ 映画「小売店の仕事」を見て</p> <p>○ よい品をやすく消費者に渡すために、小売店はどんな仕入れをしているか。</p> <p>○ 小売値段はどのようにしてきまるか。</p> <p>○ 生産者から消費者にわたるまでにどのような費用がかかっているかについて話し合う。</p> <p>○ よい品物を安く手に入れる工夫を話し合う。</p>

## 社会科単元例「をめぐって」

W 映画を使った授業はどのようにと考えるとここに試案を出してみました。

A この単元の目標三つの中で一番大きいと考えられるのはどれですか。

W それは第一番に掲げてあるものです。

B 映画を三回見る様になっていきますがその点どうですか。

W これは二回でもよいと思いますが、その一回一回に映画を見る目標があるのですから三回できたと思えます。

C 実際問題として三回見せる事は大変だと思えますが……

W これは試案ですので、こういう風に出ればやりたいと思つて作りました。

D この映画の中でも問屋については少ししか出ませんので二回目は抜いたら……

W そうです。二回でもよいと思えます。

E 岡崎市の商業の項と次の合理的な商店の利用の項を入れかえた方がよいと思ふか。

W 順序としての方がよいかも知れませんが、又授業の行き方に依つても変わってくるでしょう。とにかく映画は教材にぴったりとは限りませんが色々な工夫して使つて下さい。